

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
1	目次 第4章	3 水道事業を担う人材の確保と技術継承	3 水道事業を担う人材の確保と技術の継承
2	目次 第6章	1 重点実行計画の位置付けと計画期間	1 重点実行計画の位置づけと計画期間
3	"	2 施策体系図	2 重点実行計画施策体系図
4	"	3 主要施策	3 主要施策（具体的な取り組み）
5	"	第6章 3（3）Ⅱ 広報・公聴活動の充実とお客様サービスの向上	第6章 3（3）Ⅱ 広報・広聴活動の充実とお客様サービスの向上
6	"		5 総事業費
7	目次 第7章	1 中期経営計画策定の趣旨 2 中期経営計画の位置付けと計画期間 3 主要施策（重点実行計画） 4 収支計画 5 中期経営計画の進捗管理	1 策定趣旨 2 位置づけ 3 計画期間 4 経営の基本方針 5 経営目標の設定 6 投資と経営の効率化・健全化の取り組み 7 投資・財政計画 8 第Ⅳ期中期経営計画（平成28～32年度） 9 計画の進捗管理
8	目次 付属資料	—	付属資料 1 大津市水道事業経営検討委員会 2 湖都大津・新水道ビジョンの策定経過 3 用語解説

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
9	目次 資料編	1 平成27年度水道需要家意識調査報告書（概要版） 2 結の湖都・水道ビジョン改訂版（平成24～27年度）の実施状況 3 水需要予測 4 湖都大津・新水道ビジョンの策定経過 5 水道事業ガイドライン業務指標（PI）（平成24～26年度）	資料編（別冊） 1 水道事業ガイドライン業務指標（PI） 2 平成27年度需要家意識調査報告書 3 大津市水道事業のアセットマネジメント（平成24年度） 4 大津市企業局中長期経営戦略の検討（平成25年度） 5 大津市企業局経営改革プロジェクト会議「プロジェクトK」（平成26年度） 6 平成27年度水需要予測について 7 中長期経営計画（経営戦略）投資・財政計画 8 経営比較分析表
10	p.1 3行目	大津市の水道は	本市の水道は
11	p.1 6行目	現在（平成26年度末）の普及率は	平成26年度末の普及率は
12	p.1 24行目	訪れようとしております。	訪れようとしています。
13	p.1 25行目	水道事業をとりまく状況の変化	水道事業を取り巻く環境の変化
14	p.3 16行目	「重点実行計画」に掲げた具体的な施策及び取り組み事項と「中長期経営計画（経営戦略）」に基づく効率的な経営の実施に	「重点実行計画」と「中長期経営計画（経営戦略）」の実施に
15	p.3 20行目	各事業を推進していきます	各事業の適正かつ効率的な実施を推進していきます
16	p.4 図	H28～	平成28～（10箇所の修正）
17	p.5 脚注	※3 整合させていく活動。	※3 整合させていく活動
18	p.5 脚注	※4 大津市水道事業アセットマネジメント 資料編 参照P〇〇	※4 大津市水道事業アセットマネジメント 資料編「3 大津市水道事業のアセットマネジメント（平成24年度）」参照
19	p.5 脚注	※5 大津市企業局中長期経営戦略検討 資料編 参照P〇〇	※5 大津市企業局中長期経営戦略検討 資料編「4 大津市企業局中長期経営戦略検討（平成25年度）」参照
20	p.5 脚注	※6 大津市企業局経営改革プロジェクト会議 資料編 参照P〇〇	※6 大津市企業局経営改革プロジェクト会議 資料編「3 大津市企業局経営改革プロジェクト会議「プロジェクトK」（平成26年度）」参照

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
21	p. 7 2行目	本市水道は、	本市の水道は、
22	p. 7 8行目	水需要は高まり	水需要が高まったことから
23	p. 9 2行目	浄水場の概要 平成27年度（2015年度）末現在	浄水場の概要 平成26年度（2014年度）末現在
24	p. 11 4行目	面積は464.10km ²	面積は464.51km ²
25	p. 12 4行目	これに併せて、	これにあわせて、
26	p. 12 表	一日平均給水量及び一日最大給水量	一日平均給水量及び一日最大給水量の推移
27	p. 12 脚注	除したものの。	除したもの （体言止めは句点をつけない。以下同じ。）
28	p. 12 脚注	最大のものの。	最大のもの （体言止めは句点をつけない。以下同じ。）
29	p. 13 5行目	業務営業用及び工場用	業務・営業用及び工場用
30	p. 13 グラフ	業務・営業用及び工場用の給水量	業務・営業用及び工場用の給水量の推移
31	p. 13 グラフ	m ³ /年	（m ³ /年） ※カッコの追加
32	p. 14 3行目	本市水道事業は、	本市の水道は、
33	p. 14 6行目	お届けするまでに	お届けするまでに、
34	p. 15 脚注	、独占的に使用することのできる権利。目的ごとに区分され、	、独占的に使用することのできる権利のことであり、目的ごとに区分され、
35	p. 15 9行目	原水水質	原水の水質
36	p. 15 16行目	万が一の発生に備えるとともに	万が一の発生に備えるとともに、

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
37	p. 15 17行目	放射性物質（放射性セシウム）	放射性物質（放射性セシウム等）
38	p. 16 5行目	早急な取替え	早急な取り替え
39	p. 16 12行目	衛生上、問題が生じる	衛生上の問題が生じる
40	p. 17 5行目	施設規模の縮小や統廃合を考慮し、	施設の縮小などを考慮した上で、
41	p. 17 7-8行目	・・・廃止など施設の統廃合に関する施設整備を	・・・廃止など効率的な施設整備を
42	p. 18 1行目	（3）加圧ポンプ場	（3）加圧施設
43	p. 18 2行目	支障を来たす事が	支障を来たすことが
44	p. 18 4行目	設備の縮小・統廃合を行い	設備の規模縮小、統合及び廃止を行うことにより
45	p. 18 5行目	削減を行うと共に	削減を行うとともに
46	p. 18 5行目	遠隔監視システム	遠方監視システム
47	p. 18 7行目	柳が崎浄水場内に	柳が崎浄水場内に、
48	p. 18 9行目	拠点となる施設です	拠点となる施設です。
49	p. 18 脚注12	遠隔監視システム	遠方監視システム
50	p. 19 5行目	影響が大きいことから	影響が大きいことから、
51	p. 19 15行目	浄水場の統廃合など効率的な施設整備	水需要の減少に対応した効率的な施設整備
52	p. 19 脚注	水道管のうち給水分岐のない主要な配水管	水道管のうち、給水分岐のない主要な配水管

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
53	p. 20 10行目	琵琶湖西岸断層帯を想定した地震対策を実施することが求められま す	琵琶湖西岸断層帯を震源とする地震発生を想定した地震対策を実施 することが求められています
54	p. 20 17行目	これらの地震に対する対策を	これらの地震への対策を
55	p. 21 2行目	道路陥没等による災害も	道路陥没等の災害が
56	p. 21 5行目	ハード面での対策は	ハード面の対策として
57	p. 21 7行目	ソフト面での対策は	ソフト面では
58	p. 21 9行目	定期的実施してきました	定期的に実施してきました
59	p. 21 14行目	覆蓋化を行うとともに	覆蓋化を行うとともに、
60	p. 22 5行目	平成22年4月から	平成22年4月に
61	p. 22 19行目	(3) 広報公聴活動の充実	(3) 広報・広聴活動の充実
62	p. 23 表	広報誌	広報紙
63	p. 23 表	公聴	広聴
64	p. 23 3行目	水道を楽しく学んでいただき	楽しく学びながら
65	p. 23 16行目	・ 広報公聴活動の充実	・ 広報・広聴活動の充実
66	p. 24 5行目	電力が占めていることから、	電力が占めていることから、
67	p. 24 7行目	また浄水場や	また、浄水場や
68	p. 24 8行目	加圧ポンプ場	加圧施設

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
69	p. 25 3行目	本市水道事業においては	本市の水道事業においては
70	p. 25 グラフ		凡例、単位の追加
71	p. 26 グラフ	企業債残高	企業債残高の推移
72	p. 29 14行目	職員研修では、職場内部研修を	本市では、職場内部研修を
73	p. 30 4行目	下水道事業と共に	下水道事業とともに
74	p. 30 表		西暦を併記（8箇所）
75	p. 30 表	お客様センター	企業局お客様センター
76	p. 30 9行目	特性を活かし	特性を生かし
77	p. 31 脚注	将来展望を示したもの。	将来展望を示したもの
78	p. 32 2行目	1 4 2 の加圧配水池施設	1 4 2 の配水池と加圧施設
79	p. 32 脚注	※2 基幹管路 第3章4（5）管路P19注釈※16参照	※2 基幹管路 P19脚注※16参照
80	p. 32 脚注	※3 アセットマネジメント 第1章4これまでの取り組みP5注釈※3参照	※3 アセットマネジメント P5脚注※3参照
81	p. 32 脚注	※4 耐用年数、水道管は40年	※4 耐用年数のことであり、水道管は40年と定められている。
82	p. 33 グラフ	大津市基準耐用年数	大津市基準耐用年数 ^{※5}
83	p. 33 脚注	※5 定めたもの。	※5 定めたもの
84	p. 34 7行目	技術やノウハウを	技術や知識を

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
85	p. 34 グラフ	年齢別職員構成図	年齢別職員構成図（水道事業のみ）
86	p. 36 5行目	水道はお客様の生活に欠かせない命を育む水であるとともに、非常においてはお客様の命を救う水であるため	水道は生活に欠かせない命を育む水であるとともに、非常においては命を救う水であるため
87	p. 38 23行目	また事業の	事業の ※「また」を削除
88	p. 38 27行目	また環境施策を推進し、	また、環境施策を推進し、
89	p. 39 29行目	Ⅱ 広報・公聴活動の充実とお客様サービスの向上	Ⅱ 広報・広聴活動の充実とお客様サービスの向上
90	p. 39 表内	Ⅱ 広報・公聴活動の充実とお客様サービスの向上	Ⅱ 広報・広聴活動の充実とお客様サービスの向上
91	p. 39 脚注	※1 構築するための計画。	※1 構築するための計画
92	p. 39 脚注	※2 広域化の概念（事業統合、経営の一体化、管理の一体化、施設の共同化等）だけではなく、～省略～取り組みの総称。	※2 広域化の概念（事業統合）や新たな広域化（経営の一体化、管理の一体化、施設の共同化等）だけではなく、～省略～取り組みの総称
93	p. 40 6行目	「3 計画期間」（P4）	「3 計画期間」（P3）
94	p. 40 12行目	3 主要施策（具体的な取り組み） 「30の主要施策～示します。」	3 主要施策（具体的な取り組み） 「30の主要施策～示します。」 削除
95	p. 41 22行目	主要施策（具体的な取り組み） 施策方針Ⅱ 広報・公聴活動の充実とお客様サービスの向上	主要施策（具体的な取り組み） 施策方針Ⅱ 広報・広聴活動の充実とお客様サービスの向上
96	p. 41 22行目	主要施策（具体的な取り組み） 持続⑥ 局資産の有効活用と資金管理・運用の効率化	主要施策（具体的な取り組み） 持続⑥ 局資産の有効活用と資金管理の効率化
97	p. 41	2 重点実行計画施策体系図のページ数（P41）について	2 重点実行計画施策体系図のページ数を（P41～42）に変更 ※デザイン校正で見開きに変更する。
98	p. 43 1行目	第6章 重点実行計画	削除
99	p. 44 22行目	「水安全計画」	水安全計画
100	p. 44 29行目	平36～39年度	平成36～39年度

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
101	p. 44 脚注	※1 水安全計画 第5章2(2) 施策方針 P39注釈※1 参照	※1 水安全計画 P39脚注※1 参照
102	p. 45 2行目	図表内 家庭	図表内 お客様
103	p. 45 表	目標項目 表	目標項目 表 「前期」、「中期」、「後期」の枠を1つにし、表現を「100%の維持」に修正
104	p. 45 脚注	2 残留塩素濃度 殺菌効力のある塩素系薬剤を	※2 残留塩素濃度 殺菌力のある塩素系薬剤を
105	p. 46 2行目	水源から浄水処理過程、給水栓に至るまでの	水源から給水栓に至るまでの
106	p. 46 5行目	◆水道水質検査優良試験所規範（略称：水道GLP ^{※3} ）の認定取得	水道GLP ^{※3} の認定取得
107	p. 46 7行目	認定後は継続更新を目指します。	削除
108	p. 46 13行目	また、水質検査結果についても年度終了後、「水質試験年報」及びホームページで公表します。	また、水質検査結果についても「水質試験年報」及びホームページで公表します。
109	p. 46 15行目	◆放射性物質（放射性セシウム）のモニタリング	◆放射性物質のモニタリング
110	p. 46 16行目	放射性物質（放射性セシウム）のモニタリングを継続的に実施します。	放射性物質（放射性セシウム等）のモニタリングを継続的に実施します。
111	p. 46 表	表内の表記方法の変更	目標項目 表 「前期」、「中期」、「後期」の枠を1つにし、表現を「0%を維持」に修正
112	p. 47 8行目	水源である琵琶湖の	琵琶湖の
113	p. 47 脚注	※4 関西水道水質協議会（本文～）。加入団体72団体。（平成26年度）	※4 関西水道水質協議会（本文～）。加入団体72団体（平成26年度）
114	p. 48 3行目	覆蓋化を行うとともに	覆蓋化を行うとともに、
115	p. 49 写真	水道管の洗浄作業（昼間作業）の写真	水道管の洗浄作業（昼間作業）の写真の変更 ※職員が作業している写真に変更
116	p. 49 19行目	進める事業となります。	進める事業です。
117	p. 50 11行目	計画的な布設替え工事	計画的な布設替工事

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
118	p. 51 図	利者者	利用者
119	p. 52 2行目	水道水を劣化することなく	水道水を劣化させることなく
120	p. 52 11行目	平成28年度～31年度	平成28～31年度
121	p. 52 12行目	◆瀬田地区における配水管整備（P61「強靱⑤」参照）	◆瀬田地区における配水管整備と配水ブロックの構築（P61「強靱⑤」、P62「強靱⑥」参照）
122	p. 52 13行目	平成28年度～34年度	平成28～34年度
123	p. 52 14行目	◆瀬田地区における配水管ブロックの構築（P62「強靱⑥」参照）	削除
124	p. 52 15行目	平成28年度～34年度	平成28～34年度
125	p. 52 図表	給水方式のイメージ図	左側の建物を10階建て、右側の建物を5階建てに変更
126	p. 53 1行目	第6章 重点実行計画	削除
127	p. 54 7行目	設備数の少ない加圧ポンプ場	設備数の少ない加圧施設
128	p. 54 14行目	八屋戸浄水場に	八屋戸浄水場廃止に
129	p. 54 18行目	平成39年度	平成37～39年度
130	p. 54 図表	備考欄「比良加圧ポンプ場」、「八屋戸加圧ポンプ場」、「膳所加圧ポンプ場」	備考欄「比良加圧施設」、「八屋戸加圧施設」、「膳所加圧施設」
131	p. 55 図	右上図「加圧ポンプ場」2箇所	右上図「加圧施設」に修正（2箇所）
132	p. 55 図	下図「電機・機械設備更新改良」	下図「電気・機械設備更新改良」
133	p. 55 図	下図「加圧ポンプ場」1箇所	下図「加圧施設」に修正（1箇所）
134	p. 55 表	—	目標項目の表の着色について、赤色とする。 （以下、強靱の表について、同じ）

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
135	p. 55 表	平成28～32年度、平成33～36年度、平成33～36年度	平成32年度 目標、平成36年度 目標、平成40年度 目標 (以下、強靱の表について、同じ)
136	p. 56 2行目	災害や事故時において、浄水場間の	災害や事故時における浄水場間の
137	p. 57 5行目	水道システムへの再構築を、将来の目標として、	水道システムへの再構築を将来の目標として、
138	p. 57 図表	加圧ポンプ場 (8箇所)	加圧施設 (8箇所)
139	p. 57 2行目	取組んできました	取り組んできました
140	p. 59 9行目	、平成39年度の浄水場の廃止後、他の浄水場に移転が可能な設備を導入します。	、平成39年度に浄水場の機能を廃止することから、他の浄水場に再使用が可能な設備を導入します。
141	p. 59 10行目	また、平成39年度以降の加圧ポンプ場として用途に適合する送水ポンプ設備への更新を行います	また、平成39年度以降の加圧施設としての用途に適合するポンプ設備への更新を行います。
142	p. 59 31行目	・ 桐生配水池の廃止 平成30年度	・ 桐生配水池の廃止 平成28年度
143	p. 60 2行目	水道事業の資産のうち	水道事業の総資産額のうち
144	p. 61 4行目	平成28～40年度	平成29～40年度
145	p. 61 12行目	強化し、水管橋の老朽度調査を行い、水管橋維持管理計画を策定し、	強化や、水管橋の老朽度調査の実施、また水管橋維持管理計画の策定により、
146	p. 61 写真	管外面の腐食が老朽化している水道管	老朽化し、管外面が腐食している水道管
147	p. 62 2行目	解消するとともに耐震化を図ります。	解消するとともに、耐震化を進めます。
148	p. 62 6行目	地区の大部分を	地区の大部分に
149	p. 62 8行目	効率的な給水が可能とするための	効率的な給水を可能とするための
150	p. 62 9行目	解消も進めます。(・・参照)	解消も進めます(・・参照)。
151	p. 62 17行目	推進します。(・・参照)	推進します(・・参照)。

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
152	p. 62 22行目	比良浄水場及び八屋戸浄水場を廃止により、	比良浄水場及び八屋戸浄水場の廃止により、
153	p. 62 24行目	確保します。（・・・参照）	確保します（・・・参照）。
154	p. 62 30行目	進めます。（・・・参照）	進めます（・・・参照）。
155	p. 63 2行目	流方向	流れ方向
156	p. 64 3行目	供給するために水道施設や管路の耐震化に取り組んできました	供給するために、水道施設や管路の耐震化に取り組んできました
157	p. 64 8行目	（１）浄水場	◆浄水場の耐震化
158	p. 64	◆・・・浄水場	○・・・浄水場
159	p. 65	（２）配水池	◆配水池の耐震化
160	p. 65	◆・・・の耐震補強	○・・・の耐震補強
161	p. 68 2行目	地震災害等による緊急水の	地震等の災害時においても水の
162	p. 68 8行目	茶臼山配水池更新及び仰木低区配水池増設	茶臼山配水池の更新及び仰木低区配水池の増設
163	p. 68 14行目	加圧ポンプ場	加圧施設
164	p. 68 16行目	位置付けます	位置づけます
165	p. 69 脚注	※１ 大津市企業局災害対策要綱 説明文	※８ 大津市企業局災害対策要綱 P21脚注※17参照
166	p. 70 4行目	必要に応じて、マニュアルの見直しなど	必要に応じてマニュアルの見直しなど、
167	p. 70 6行目	また、地元の要請に応じて	さらに、地元の要請に応じて
168	p. 70 9行目	必要となる資器材	必要となる資機材

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
169	p. 71 22行目	大津市企業局業務継続計画（BCP）	大津市企業局業務継続計画（BCP）※ ²
170	p. 71 脚注	※ ² 業務継続計画（BCP） 第1章5（2）P21注釈※18参照	※ ⁹ 業務継続計画（BCP） P21脚注※18参照
171	p. 72 1行目	第6章 重点実行計画	削除
172	p. 72 5行目	施策方針Ⅱ 広報・公聴活動の充実とお客様サービスの向上	施策方針Ⅱ 広報・広聴活動の充実とお客様サービスの向上
173	p. 72 図	広報・公聴活動の充実とお客様サービスの向上	広報・広聴活動の充実とお客様サービスの向上
174	p. 74 1行目	施策方針Ⅱ 広報・公聴活動の充実とお客様サービスの向上	施策方針Ⅱ 広報・広聴活動の充実とお客様サービスの向上
175	p. 73 2行目	お客様ニーズの把握に取り組んでいました	お客様ニーズの把握に取り組んでいました
176	p. 74 3行目	今後も「広報・公聴活動の充実とお客様サービスの向上」に向けて、	今後も「広報・広聴活動の充実とお客様サービスの向上」に向けて
177	p. 74 7行目	水道をご利用いただけるように	水道をご利用いただけるように、
178	p. 74 表、図	広報誌「パイプライン」	広報紙「パイプライン」
179	p. 75 表	—	目標項目の表の着色について、緑色とする。 （以下、持続の表について、同じ）
180	p. 75 表	広報誌「パイプライン」の発行（年4回の発行）	広報紙「パイプライン」の発行（年4回）
181	p. 75 2行目	事業者として	市民のライフラインを預かる事業者として、
182	p. 75 3行目	事業に反映できる仕組みづくり	事業に反映される仕組みづくり
183	p. 75 11行目	お客様の目線での	お客様目線での
184	p. 75 13行目	お客様の意見を計画策定に活かします	お客様の声を計画策定に活かします。
185	p. 75 15行目	改定案作成に活かします	改訂案作成に活かします

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
186	p. 76 表	(改訂の前年度)	削除
187	p. 76 26行目	水道・ガス・下水道の安全点検の継続実施	水道・ガス・下水道の安全点検を引き続き実施します。
188	p. 77 2行目	料金体系の見直しに取り組んできました。	施設整備の効率的な運用等に取り組んできました。
189	p. 77 13行目	平成24年度に「大津市水道事業アセットマネジメント」(資料編PO O参照)を策定しました。	平成24年度に「大津市水道事業アセットマネジメント」を策定しま した(資料編 3参照)。
190	p. 77 18行目	10年目となる平成35年度に	10年が経過する平成35年度に
191	p. 77 表	平成35年度改定実施	平成35年度改訂実施
192	p. 78 7行目	発注と共に	発注とともに
193	p. 79 1行目	持続⑥ 局資産の有効活用と資金管理・運用の効率化	持続⑥ 局資産の活用と資金管理の効率化
194	p. 79 13行目	(2) 資金管理・運用の効率化	(2) 資金管理の効率化
195	p. 79 14-17	14~17の全文	全文修正 本編資料のとおり
196	p. 80 8行目	料金収入と企業債となります。	料金収入と企業債です。
197	p. 81 2行目	取り組んできました。	取り組んできました。
198	p. 81 9行目	職員研修を中心に据え、	職場内研修を軸とし、
199	p. 81 13行目	ベテラン職員の持つノウハウや知識	ベテラン職員が持つ技術や知識
200	p. 81 20行目	◆ベテラン職員の持つノウハウや知識を ・専門的なノウハウや知識の	◆ベテラン職員が持つ技術や知識を ・専門的な技術や知識の

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
201	p. 82 表	内部研修を受けた	外部研修を受けた
202	p. 82 脚注	※1 スマートメーター	※10 スマートメーター
203	p. 82 脚注	※2 ICT ICT (Information and Communication Technology) の略。	※11 ICT Information and Communication Technologyの略。
204	p. 83 6行目	本市水道事業は、広域化を推進するためリーダーシップを発揮し、	広域化を推進するため、県内における中核的事業体として、リーダーシップを発揮し、
205	p. 84 図	大津市水道事業の広域化への取り組み	水道事業の連携と広域化への取り組み
206	p. 84 図	包括協定に基く「水道技術部会」	包括協定に基づく「水道技術部会」
207	p. 84 表	平成26年度末実績 —	平成26年度末実績 1
208	p. 86 表	21,900,000以下に削減	21,900,000以下
209	p. 86 表	0.52以下に維持	0.52以下
210	p. 86 3行目	100%の維持と	100%の維持、
211	p. 86 表	100	目標項目表「前期」、「中期」、「後期」の枠を1つにし、表現を「100%を維持」に修正
212	p. 86 脚注	※3 インバーター	※12 インバーター
213	p. 87 2行目	原因になるとともに	原因になるとともに、
214	p. 87 8行目	平成26年度末現在	平成26年度末現在で
215	p. 87 14行目	技術の向上を推進し、若手職員に対する職場研修を実施し	技術向上の推進、そして若手職員に対する職場研修の実施により

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
216	p. 88 1行目	目標設定	4 目標設定
217	p. 88 表	表内の表記方法の変更 安全	【再掲】目標項目 表 「前期」、「中期」、「後期」の枠を1つにし、表現を「100%を維持」に修正
218	p. 88 表	表内の表記方法の変更 安全	【再掲】目標項目 表 「前期」、「中期」、「後期」の枠を1つにし、表現を「0%を維持」に修正
219	p. 88 表	浄水施設耐震化率 23	浄水施設耐震化率 23.0
220	p. 88 表	基幹管路の耐震化率 30	基幹管路耐震化率 30.0
221	p. 89 表	広報誌「パイプライン」の発行（年4回の発行）	広報紙「パイプライン」の発行（年4回）
222	p. 89 表	お客様アンケートの実施 「平成～年度に実施（改定の前年度）」	お客様アンケートの実施 「平成～年度に実施」
223	p. 89 表	パブリックコメントの実施 「平成～年度の改定時に実施」	パブリックコメントの実施 「平成～年度に実施」
224	p. 89 表	平成35年度に改定	平成35年度に改訂
225	p. 89 表	内部研修を受けた	外部研修を受けた
226	p. 89 表	21,900,000以下に削減	【再掲】21,900,000以下
227	p. 89 表	0.52以下に維持	【再掲】0.52以下
228	p. 89 表	浄水汚泥の有効利用率 100	【再掲】目標項目 表 「前期」、「中期」、「後期」の枠を1つにし、表現を「100%を維持」に修正
229	p. 89 表	有収率（平成26年度末実績） 99.2	有収率（平成26年度末実績） 92.2
230	p. 91 脚注	※1 P3 脚注参照。	※1 「公営企業の経営に当たっての留意事項について」P3 脚注※1参照
231	p. 92 9行目	（資料編 P〇〇参照）	（資料編 4参照）
232	p. 93 5行目	（資料編 P〇〇参照）	（資料編 3参照）

湖都大津・新水道ビジョン 修正箇所一覧表

番号	箇所	原案	修正案
233	p. 93 10行目	(資料編 P〇〇参照)	(資料編 5参照)
234	p. 94 表	取り組み一覧表 掲載頁	取り組み一覧表 掲載頁 記入
235	p. 94 表	持続⑥ 局資産の有効活用と資金管理・運用の効率化 2箇所	持続⑥ 局資産の活用と資金管理の効率化 2箇所
236	p. 99 13行目	平成34年度に枯渇する見込みです。	平成32年度に枯渇する見込みです。
237	p. 100 2行目	平成34年度には	平成32年度には
238	p. 103 表	補てん財源残高の料金改定前後の推移	補てん財源残高の料金改定前後の推移 表の修正
239	p. 104 表	現金残高の料金改定前後の推移	現金残高の料金改定前後の推移 表の修正
240	p. 105 7行目	投資財政計画を資料編のP〇～〇に、平成29年度に平気20%の料金改定を行うことを想定した投資財政計画を資料編P〇～〇に示しています。	投資財政計画及び平成29年度に平気20%の料金改定を行うことを想定した投資財政計画を資料編7に示しています。
241	p. 106 1行目	平成28年度～平成32年度	平成28～32年度
242	p. 106 2行目	および	及び
243	p. 106 表	・ II 広報・公聴活動の充実とお客様サービスの向上 ・ ⑥局資産の有効活用と資金管理・運用の効率化	表内2箇所の修正 ・ II 広報・公聴活動の充実とお客様サービスの向上 ・ ⑥局資産の有効活用と資金管理の効率化
244	p. 108 上表	(資料編P〇〇の水需要予測を参照)	(資料編 6水需要予測参照)
245	p. 108 下表	純損益の欄 (一般的に、純利益は「黒字」、純損失は「赤字」という)	純損益の欄 (一般的に、純利益は「黒字」、純損失は「赤字」という) ※文末カッコの追記
246	p. 110 7行目	本文及び図	7行目～12行目全文修正、図の修正